

PDCAチェックシート

実施年度	令和 7 年度		
事務事業名	ワクワク子育て応援事業		
	担 当 課 名	こども家庭課	
【Plan】計画	【Do】実施・実行	【Check】点検・評価	【Action】処置・改善
■目的 妊産婦に対する面談やアンケート等で身近な相談に応じながら必要な支援につなぐ「伴走型相談支援」と電子ギフトポイントもしくは現金支給の「経済的支援」を一体的に実施することで、妊娠期から出産・子育て期まで切れ目のない支援の充実を図ることを目的とする。 ■成果指標(アウトカム・KPI) ※ 【目標値】 妊産婦のうち給付要件を満たす対象者へ各5万円分のギフトポイントもしくは現金支給の申請率100%を目標とする。 【達成値(R7実績値)】 出産応援ギフト(妊娠86件)、子育て応援ギフト(出産77件)に対する各5万円分のギフトポイントもしくは現金支給のための申請率100%を達成及び、個別訪問等相談業務を通じ、妊産婦の母体管理の直接的な確認や育児不安の軽減が図れた。	■具体的取組 (伴走型相談支援) ①妊産婦に対する電話相談や個別面談の実施 ②妊娠8か月アンケートの実施(経済的支援) ③妊産婦に対し各5万円分のギフトポイントもしくは現金の給付申請の受付 ■インプット(投入金額等) 事業費等 ワクワク子育て応援事業(委託料及び扶助費) 10,752千円 ■アウトプット(数量等) 実施回数等 ・出産応援ギフト(86件) ・子育て応援ギフト(77件)	■成果指標の具体的な検証結果 (インプット・アウトプットに対するアウトカムの達成状況はどうか、また、達成できていない場合の原因は何なのか等の検証結果を具体的に記載) ①妊産婦に対する電話相談や個別面談の実施 ・妊産婦に対し必要に応じ、計画的に個別面談等を実施できた。 ②妊娠8か月アンケートの実施 ・アンケートの実施により個別具体的な悩みや不安を把握できた事で、妊娠後期に妊婦個々に寄り添った支援を充実させることができた。 ③妊産婦に対し各5万円分のギフトポイントもしくは現金の支給 ・面談を行った全ての妊産婦から支給の申請を受理した一方で、ギフトポイントの個人利用済額については総付与額の84%程度にとどまっている。原因としてはギフトポイントの付与や地域通貨として利用するためには、妊産婦本人がスマートフォンやタブレット用アプリから一定の操作が必要であり、ギフトポイント残額について本人の失念等が考えられるが、申請から一定の期間が経過した未利用者に対し、利用期限の通知や利用を促したり、個別に操作方法の相談対応などを行った。	■検証結果を受けての具体的な対応 ①②計画的に個別訪問とアンケート等を組み合わせることで、妊産婦に対する確実に必要な支援につなげる。また、住所地の転入、転出者に対し、他の自治体と連携し情報共有を行いながら、継続して支援を行い、妊産婦が孤立することのないよう取り組む。 ③経済的支援における令和6年度から開始された本制度では、香川県内広域化事業に伴い支給方法が現金から、ギフトポイント支給に変更されたことから、引き続きポイント利用期限(付与から1年6か月)のスケジュール管理を行いながら、期限切れによる未支給額が発生しないよう個別対応に取り組む。 ■評価 現状維持

※KPI … 重要業績評価指標。Key Performance Indicatorの略。アウトカムの達成度を具体的に示す指標(数値)をいう。